



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月6日

上場会社名 ユニプレス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5949 URL http://www.unipres.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役 社長執行役員 (氏名)吉澤 正信
 問合せ先責任者 (役職名)経理部長 (氏名)齊藤 直樹 (TEL) (045) 470-8631
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月7日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日~平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	224,615	△4.7	15,502	16.1	14,977	48.7	8,750	136.7
28年3月期第3四半期	235,756	8.9	13,349	29.0	10,069	△19.7	3,696	△30.9

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 △6,664百万円(-%) 28年3月期第3四半期 △295百万円(-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	194.17	193.60
28年3月期第3四半期	82.74	82.28

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	213,646	120,891	53.0
28年3月期	233,274	129,253	51.6

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 113,216百万円 28年3月期 120,429百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	17.50	—	17.50	35.00
29年3月期	—	17.50	—		
29年3月期(予想)				17.50	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日~平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	310,000	△4.7	20,000	△9.2	18,500	1.7	10,000	2.6	221.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期3Q	47,773,873株	28年3月期	47,710,073株
29年3月期3Q	2,682,646株	28年3月期	2,682,560株
29年3月期3Q	45,067,082株	28年3月期3Q	44,677,793株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、四半期決算短信[添付資料]2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報」の「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループの当第3四半期連結累計期間の連結業績は、売上高につきましては得意先の増産影響はあったものの、円高に伴う為替影響等により2,246億円（前年同期比111億円減、4.7%減）となりました。利益につきましては、当社グループをあげて取り組んでおりますUPS（ユニプレス生産システム）活動を柱とした合理化効果等により、営業利益は155億円（同21億円増、16.1%増）、経常利益は為替差損の減少等により149億円（同49億円増、48.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は87億円（同50億円増、136.7%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 日本

得意先の増産影響により、売上高は746億円（前年同期比56億円増、8.1%増）となり、セグメント利益（営業利益）は40億円（同4億円増、11.3%増）となりました。

② 米州

得意先の増産影響はあったものの、為替影響により、売上高は770億円（同136億円減、15.1%減）となりました。また、セグメント利益は合理化効果等により、48億円（同10億円増、27.3%増）となりました。

③ 欧州

得意先の増産影響はあったものの、為替影響により、売上高は233億円（同16億円減、6.4%減）となり、セグメント利益は9億円（同1億円減、10.8%減）となりました。

④ アジア

得意先の増産影響はあったものの、為替影響により、売上高は495億円（同14億円減、2.8%減）となりました。また、セグメント利益は合理化効果等により、54億円（同10億円増、23.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、受取手形及び売掛金が41億円、有形固定資産が118億円それぞれ減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ196億円減の2,136億円となりました。

負債につきましては、支払手形及び買掛金が42億円、長期借入金が42億円、退職給付に係る負債が31億円それぞれ減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ112億円減の927億円となりました。

純資産につきましては、利益剰余金が71億円増加したものの、その他の包括利益累計額が144億円減少しており、非支配株主持分も11億円減少しております。この結果、前連結会計年度末に比べ83億円減の1,208億円となりました。自己資本比率は前連結会計年度末に比べ1.4ポイントプラスの53.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の通期連結業績予想につきましては、概ね予想の範囲内で推移していることから、平成28年5月11日に公表いたしました予想を変更しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更による当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	27,553	27,133
受取手形及び売掛金	42,090	37,922
たな卸資産	22,023	21,421
その他	13,092	11,213
貸倒引当金	△279	△206
流動資産合計	104,479	97,483
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	27,762	24,782
機械装置及び運搬具(純額)	55,713	48,765
土地	8,105	7,981
建設仮勘定	6,904	5,307
その他(純額)	16,141	15,985
有形固定資産合計	114,627	102,822
無形固定資産	3,079	2,543
投資その他の資産		
投資有価証券	4,540	4,957
その他	6,554	5,846
貸倒引当金	△7	△6
投資その他の資産合計	11,088	10,796
固定資産合計	128,795	116,163
資産合計	233,274	213,646
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	27,495	23,216
電子記録債務	2,784	3,234
短期借入金	24,158	23,954
未払法人税等	1,955	1,542
賞与引当金	2,754	1,696
その他の引当金	88	79
その他	18,664	20,053
流動負債合計	77,901	73,778
固定負債		
長期借入金	6,175	1,969
その他の引当金	159	151
退職給付に係る負債	9,170	6,024
その他	10,613	10,830
固定負債合計	26,118	18,976
負債合計	104,020	92,755

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,972	10,016
資本剰余金	12,207	12,251
利益剰余金	105,295	112,468
自己株式	△5,130	△5,130
株主資本合計	122,345	129,605
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△238	12
為替換算調整勘定	5,252	△11,859
退職給付に係る調整累計額	△6,929	△4,541
その他の包括利益累計額合計	△1,915	△16,389
新株予約権	113	90
非支配株主持分	8,711	7,584
純資産合計	129,253	120,891
負債純資産合計	233,274	213,646

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	235,756	224,615
売上原価	203,362	189,853
売上総利益	32,394	34,762
販売費及び一般管理費	19,044	19,259
営業利益	13,349	15,502
営業外収益		
受取利息	295	273
受取配当金	88	13
受取賃貸料	160	158
その他	166	243
営業外収益合計	711	688
営業外費用		
支払利息	837	519
為替差損	1,277	501
持分法による投資損失	1,729	27
その他	147	164
営業外費用合計	3,991	1,214
経常利益	10,069	14,977
特別利益		
固定資産売却益	54	64
特別利益合計	54	64
特別損失		
固定資産処分損	93	75
退職給付制度終了損	—	281
その他	1	1
特別損失合計	94	358
税金等調整前四半期純利益	10,029	14,683
法人税等	5,261	4,875
四半期純利益	4,767	9,807
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,070	1,056
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,696	8,750

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	4,767	9,807
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△275	237
為替換算調整勘定	△5,212	△18,945
退職給付に係る調整額	608	2,387
持分法適用会社に対する持分相当額	△183	△152
その他の包括利益合計	△5,062	△16,472
四半期包括利益	△295	△6,664
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△335	△5,722
非支配株主に係る四半期包括利益	40	△941

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	日本	米州	欧州	アジア	計		
売上高							
外部顧客への売上高	69,061	90,739	24,920	51,035	235,756	—	235,756
セグメント間の内部売上 高又は振替高	14,532	516	6	2,358	17,413	△17,413	—
計	83,593	91,255	24,926	53,393	253,169	△17,413	235,756
セグメント利益又は損失 (△)	3,650	3,821	1,062	4,412	12,946	402	13,349

(注)1. 調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	日本	米州	欧州	アジア	計		
売上高							
外部顧客への売上高	74,663	77,043	23,315	49,593	224,615	—	224,615
セグメント間の内部売上 高又は振替高	11,708	414	△3	2,105	14,225	△14,225	—
計	86,372	77,458	23,312	51,698	238,841	△14,225	224,615
セグメント利益又は損失 (△)	4,063	4,863	947	5,450	15,323	178	15,502

(注)1. 調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

「会計方針の変更等」に記載のとおり、当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を同様に變更しております。

なお、この変更による当第3四半期連結累計期間の日本のセグメント利益に与える影響は軽微であります。